

第50回水道週間 「ただいまー 蛇口ひねって 水ゴクリ」

毎年6月1日～7日は「水道週間」です。

「水道週間」は、全国の水道事業関係者が連携して、安全でおいしい水道水をPRし、水道への理解を深めてもらうための多彩な行事をおこなう広報週間です。

高知市でも水道週間行事として、今年も「水のふるさとフェスティバル」を開催します。水源地域の物産店をはじめ、盛りだくさんの内容でみなさまのご来場をお待ちしています。

水道週間行事
水のふるさとフェスティバル
とき 2008年6月1日(日)
じかん 10:00～16:00
ところ 高知市中央公園



くろす
わ
一
ぱ
ず
の
解
答

第153号のはずの答えは

ブロッキンスイ

ひとくちメモ 高知市水道局では、高台地区や管末地区での水圧低下を防ぎ効率的に配水をおこなうとともに、不測の事態が生じた場合でも影響範囲を最小限に抑えるため、給水区域をブロック分けする「ブロック給水」をおこなっています。



NEWS CLIP ニュースクリップ

竹島公園に 非常用貯水槽が完成

大地震等による断水時の飲料水を確保するため設置を進めている「耐震性非常用貯水槽」。16基目が、竹島町の竹島公園に完成しました。西日本最大級のこの貯水槽は、有効容量300立方メートルで、通常の貯水槽の5倍の大きさがあります。



建設中の貯水槽(平成19年12月撮影)

U字型の貯水槽の両端は、近くの配水管につながっており、普段は配水管の一部として水が常に流れています。地震等で配水管が破損した際には、遮断弁で配水管と自動的に分離され、新鮮な水が確保されます。

災害による断水時には、地域住民の飲料水はもちろん、水道局に近いため給水車が水をくみ出す拠点としても活用されます。

旭浄水場の工事進捗状況

老朽化に伴い平成17年度から10年間の予定で施設の更新工事中の旭浄水場。平成19年度は、自家発電機棟の内部設備工事と送水ポンプ棟が完成しました。

平成20・21年度には管理棟を建設し、第1期分の工事である「浄水施設更新工事」(平成17～平成21年度)が完了する予定です。



自家発電機棟に設置されたガスタービン発電装置



完成した送水ポンプ棟(平成19年12月撮影)



平成19年12月17日に稼動開始した送水ポンプ棟内の送水ポンプ

すいとうくん
作 ともたけち



茶霧湖：仁淀川上流の大渡ダム湖



ここには桜があるのよ！



なあ山のなかでしかによ
キロキロのどが
ないかな
自販機のかわいたな



ちゃんと家から
持ってきたわよ！
気がきくねえ

水源地クリーンキャンペーン &エコ俱楽部探検隊

1月26日、高知市の水道工事業者で組織する「高知市管工事設備業協同組合」と同青年部「若葉会」の主催で水源地の清掃が行われました。

4回目となるこの行事は、清掃活動を通じて水の大切さを再認識してもらおうという目的で、今年は春野地区の水源上流にあたる仁淀川八天大橋下に、水道関係者ら約40名が集合。およそ1時間半ほどの清掃で、2トントラック1台分のゴミを収集しました。



(お願い) 二面倒ですが、みなさま自身で穴をあけてください。

○

● 広報すいどうは資源保護のため再生紙を使用しています。